

環研センターNEWS

第13号

めずらしい昆虫がたくさんいたよ!



昆虫の色と形のふしぎ



写真展「やまがた春の花」「やまがたの巨木たち」

燃料電池車を動かしてみよう



大人になったらこんなエコカーにのりたいわ



いろいろな生き物があるね

水生生物を観察してみよう



親子で楽しむ



ワ~!

あなたの声の大きさを測ってみよう



環境科学体験デー

6月5日「環境の日」に、親子で楽しみながら、環境について考えたり科学について学んだりできるイベントが、当センターで開催され、大勢の親子連れでにぎわいました。



上手にできたよ!



虫をつくってみよう



身近な水辺の健康診断をしてみよう



台所から出る水を調べてみよう



このはっぱは食べられるの?

里山を観察してみよう



ムラサキイモでpHを調べてみよう

きれいな色だね



サインペンの色を分けてみよう

たくさんの方にご来場いただきありがとうございました!



第1回生態学講座

豊かな山形県の自然を次世代に引き継いでいきたい……。これまで以上に自然環境保全の取組が活発かつ充実したものとなることをねらいとして開講した「生態学講座」。その第1回目が6月10日(金)に置賜総合支庁と川西町で行われました。



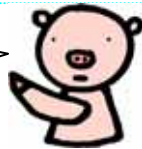
午前中、県内里山の状況や里山に多く生息する希少野生生物の保護の現状について研修しました。午後から講師の永幡嘉之の案内で、県の天然記念物であるチョウセンアカシジミの保護地を視察し、保全対策のあり方について理解を深めました。

チョウセンアカシジミ (チョウ目シジミチョウ科)

昭和52年3月28日山形県指定天然記念物(地域を定めず指定)主な生息地は小国町、川西町など。県レッドデータブックでは準絶滅危惧種になっています。



突然ですが、ここで
クイズ!



こんな研究しています



答えは !
小見川(東根市)に生息するイバラトミヨの巣を探しているところです。

問題: 下の写真の人たちは何をしているのでしょうか? 答えを選んでね。



お昼寝をしている。
おなかがすいて倒れこんでいる。
川の中の生物を調査している。

小見川のイバラトミヨ特殊型の保全技術確立に関する研究

この地球上で東根・天童にしかないイバラトミヨ特殊型の絶滅を回避するために、次のことをやっています。

- 1, 小見川におけるイバラトミヨ特殊型の好適生息環境及び生態を解明する
- 2, 減少要因を究明する
- 3, 明らかになった好適生息環境を、維持または修復し、その効果を検証する
- 4, 環境維持・修復技術を開発、活動団体とともに安定的生息条件を確保する

16年度の調査では、このような状況でした。



大岩部長が
利根川に行ってきた!



学会風景

当センターの大岩敏男水環境部長が、本年4月にポルトガル南部のアルガルヴェで開催された「水資源管理に関する国際学会」に参加し、「多変量解析を基にしたトリクロロエチレンによる地下水汚染の濃度推移予測」のテーマで発表してきました。

学会には世界各地から参加があり、先進国の研究は水質汚染を問題にしていたが、発展途上国では水資源そのものの確保が課題となっていたそうです。



山形県環境科学研究センター

村山市楯岡笛田三丁目2-1

: 0237-52-3124

e-mail: kankyose@pref.yamagata.jp

編集: 環境企画部

平成17年6月30日発行